

# 令和4年度 氷見市教育総合センターだより 第2報

## 第1回 ICT教育推進プロジェクト会議 5月31日(火) 指導助言：富山大学大学院教職実践開発研究科 准教授 長谷川 春生 先生

氷見市のICT教育における目指すべき方向性や方策等について、幅広く意見交換や情報共有を行うため、関係者が一堂に会して、第1回ICT教育推進プロジェクト会議を開催しました。



会議では、昨年度の会議の振り返りの後、今年度のICT教育推進委員会の活動計画、ICT環境整備についての説明がありました。教育ソフト関連企業からは、端末保守の考え方、導入済みの機器やソフト等の活用研修会の説明等がありました。その後、各校のICT教育推進委員がグループに分かれ、今年度の研修計画等について情報交換を行いました。全体での意見交換では、教員個人の能力差や指導頻度の差を埋めることが課題であること、推進委員がリーダーとなって活用に取り組んでほしいこと等のご意見をいただきました。

長谷川先生からは、ICT活用の方向性として、特に以下の点について教えていただきました。

- 氷見市が行っているアンケートでの実態把握は大切である。今後も、アンケート結果を生かした取組を行ってほしい。
- 小学校では、プログラミング教育を頑張してほしい。学習指導要領で内容が定められているわけではないが、5年算数科「多角形」、6年理科「電気」の学習で実施できるので、楽しんで活用場面を広げてほしい。
- 先生方の活用に差があることが課題として挙げられたが、抵抗のある人でも取り組んでみると楽しさ分かる。無理して使う場面があってもよいと思うので、ツールとして身近に感じられる授業で使ってみてほしい。

今年度も学校ごとの活用推進計画の実践を中心に、さらなるICT活用に取り組んでいきます。

## 幼保小接続研修会・合同講演会（パネルディスカッション） 6月1日(水) テーマ「幼保小、それぞれの子ども理解と育ちへの願いを接続に生かす」 講師：山梨県立大学 教授 阿部美穂子 先生

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、子育て支援課と合同で開催しています。今年度は研修回数と内容を精選し、校区ごとの話合いとパネルディスカッションを行いました。



<校区ごとの情報交換>



<フロアをまじえたパネルディスカッション>



4人のパネリスト（年長児担任2名・小学校第1学年担任2名）の方々は、子供の育ちを願って取り組んでいることについて、具体的に熱く語られました。阿部先生は「安心をつくりだす」「育ちの幅を広げる」「目標を立てて振り返る」等、キーワードを使って分かりやすくまとめてくださいました。また、子供たちが安心して学べるように、一人一人の発達の様相を踏まえ、実態に応じた支援が必要であると力説されました。フロア参加者からの意見や切実な質問に対して、パネリストの方々が丁寧にこたえてくださいました。明日からすぐに生かせるようなヒントをたくさんいただき、意欲を高めることができました。

## 調査研究事業「ふるさと教育推進委員会」

「地域に学び、氷見を愛する心を育てるふるさと教育の推進」は、教育総合センターの運営方針の一つです。今年度は、ホームページ「みんなで学ぼう！ふるさと氷見」の改訂と、各学校の取組を広く紹介し、ふるさと教育の推進に努めます。

子供たちがふるさと氷見について考え、地域のよさを発信できるよう、6名の委員がアイデアを生かして取り組みます。ご理解とご協力をお願いします。



## 調査研究事業「ICT教育推進委員会」

本委員会は昨年度から、「各校でICT活用推進計画に基づいた取組を進めると同時に、ICTを活用した授業、プログラミング教育の推進に向けた実践的な研究を行う」という目的の下、活動を行っています。今年度の氷見市の目標は、次のとおりです。



【全校共通】…推進委員が中心となって各校の実態に応じた「ICT活用推進計画」を作成し、着実に実践を進める。

【小学校】…「情報活用能力（プログラミング教育を含む）の育成に係る基本カリキュラム～総合的な学習の時間等を活用したカリキュラム～」から、担当する学年の内容のいずれかを実践する。

【中学校】…全ての教員が、電子黒板とタブレットPCを使った授業をできるようにする。

今後、推進委員が各校のリーダーとなって、着実に実践を進めていきます。ICTの積極的な活用、研修会への参加等のご協力をお願いいたします。

## 教育論文・実践記録の書き方ポイント研修会

5月27日（金）

講師 教育総合センター 副主幹 谷内口まゆみ 先生

昨年度に引き続き、教育論文・教育実践記録を書くためのポイント等を学ぶ研修会を小中校長会と連携し企画したところ、各校から17名の参加者を得て、開催することができました。

谷内口先生からは、まず、「書くことは人を確かにする」「書いたことは自分の中に残る」という論文・実践記録を書くことの意義を教えてくださいました。そして、執筆の大まかな流れから、主題設定や全体構想、研究の仮説の立て方のポイントまでを、丁寧に分かりやすくお話いただきました。



### 【参加者の声】

- 初めて実践記録を書くことになり、「難しそう」「上手にまとめられるか」という不安な気持ちが強かったが、今日研修を受けたことで、実践記録に対するモチベーションを高めることができた。
- 「どのような子供を育てたいか」「そのためには何をするか」を特に大切に考えていきたい。
- どういうふうに書いていけばよいか分からなかったが、書くためにどういった点を大切にすればよいか分かりました。理論部分を固めることは論文を書くためだけでなく、普段の授業等にも言える大切なことだと思いました。

※ 第2回を7月27日（水）に開催予定です。

## 今年度の小中連携教育 ～9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ～

氷見市では、義務教育9年間での児童生徒の成長を見据え、学習・生活両面における指導や支援を系統的、継続的に行ってきました。主な取組と課題は以下のとおりです。

- 【取組】○推進委員会、連絡会議について…重点項目の決定、小中合同の年間行事計画表の作成、担当者の校務分掌への位置付け、事業実施計画の教育計画への掲載、定期的な連絡会の実施等  
 ○合同研修会、学習指導について…乗り入れ授業の実施、互見授業・研修会の実施  
 ○生徒指導、小中連携行事について…情報交換会の実施、小中連携支援シート(ほっとラインシート)の活用、アウトメディア(ゼロメディア)運動、挨拶運動、清掃活動の実施等
- 【課題】●小中連携教育の成果と課題の共有 ●小中教員間の意見交換の場の設定  
 ●事後研修を含めた乗り入れ指導等の実施 ●小中連携を通じたカリキュラム・マネジメントの充実

### 各校区の実情を踏まえて計画されている内容

※詳細については、「小中共通フォルダ>教育総合センター>01-小中連携教育>★R4計画書・報告書」をご覧ください。

	今年度の重点事項	推進委員会・連絡会議	合同研修会、学習指導・	生徒指導、小中連携行事
南部中学校区	◇連携による豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立 ◇「学びの連続」による学力の向上 ◇児童生徒理解の推進	○校区3校校長会 ○校区3校教頭会 ○3部会推進委員会・学習指導部会 ・生徒指導部会 ・家庭・地域連携部会 ○部会協議会	○中学校教員による乗り入れ指導の実施(体育科、家庭科、外国語科) ○学校訪問研修会、小教研・中教研発表会等への授業参観 ○3校合同リモート学習会 ○特別支援教育に関する講演会への参加	○ゼロメディア運動(PTAと連携、定期考査1週間前の年5回) ○小中合同ハートフル標語の募集 ○学校祭への小学生招待 ○ハートフルだよりの発行
北部中学校区	◇9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ	○小中連携会議(教頭)毎月25日頃開催	○中学校教員による乗り入れ授業と協議会、音楽科教員による合唱や器楽演奏の指導 ○学校訪問研修会、授業公開、研究会への授業参観 ○小中連携学力向上研修会(研究授業の参観) ○6年生への「学習の手引き」の配布と中学校教頭等による説明	○「中1ギャップ」解消のための小学校教員による授業参観と懇談会 ○家庭学習週間 ○小中合同挨拶運動 ○小中連携清掃活動 ○生徒指導主事による学習・生活上の規律に関する問題点の確認、共通項目の選定 ○不登校等児童の個別連絡会
十三中学校区	◇9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ	○小中連携推進委員会	○児童生徒の学習面での情報交換 ○校内研究授業の参観・協議会、学校訪問研修会、中教研発表会への授業参観 ○家庭学習での連携 ○中学校教員による陸上競技指導 ○ICTを活用した授業づくり研修会 ○小中合同研修会(夏季休業中) ○授業参観・体験授業	○児童生徒の生活面での情報交換 ○ネットルールの取組(十三校区ネットルール作成、メディアコントロール週間) ○きずなの森整備活動 ○さわやか挨拶運動 ○学校祭への小学生招待
西條中学校区	◇9年間を見据えた主体的・対話的に学びを深める児童、生徒の育成	○推進委員会(教頭) ○連携実務者会議(教務主任、研究主任)	○中学校教員による乗り入れ授業(陸上、合唱) ○中学校3年生による市音楽会合唱披露 ○三校合同研修会(夏季休業中) ○学校訪問研修会、小教研・中教研発表会への授業参観 ○学習公開日・合同研修会(三校同日)	○挨拶運動 ○家庭学習週間 ○カウンセリング指導員と小6担当教員との情報交換 ○小中連携制作物作成 ○三校合同海岸清掃 ○小学生の中学校授業体験 ○学習規律、生徒指導の連携表の見直し
西の杜学園	◇学ぶことの楽しさを実感する児童生徒の育成～自ら考え、行動し、仲間と共に学び合う～	○アクションプラン部会 ・「学力向上」部会 ・「望ましい生活習慣」部会 ○教科部会(小中の教員) ○前期・中期・後期ブロック部会	○小・中教員による9年間の連続した途切れない個に応じた指導・支援 ○1～4年生は一部教科、5～9年生は全教科で教科担任制 ○ICTを効果的に活用した授業研究 ○ひみプランを活用した外国語活動・外国語科の実践 ○外部講師による1～9年生の発達の段階に応じた専門的な歌唱指導 ○地域の特色を生かしたふるさと教育の充実	○全校が一丸となったチームによる支援体制づくり ○異学年交流活動 ・気付き支え合い清掃(全校縦割り) ・運動会、学園祭 ・ネットルールの作成、守ろうネットルールの呼びかけ ・挨拶運動 ・アウトメディア運動

## 夏季研修会のお知らせ

教職員一人一人がキャリアステージやニーズに応じた研修に意欲をもって取り組むことで資質・能力の向上及び本市教育の充実・発展を図るため、夏季休業中において下記の研修を計画しました。多くの先生方が受講されることを期待しています。

研修会参加申込書は、電子データ（5/9送付済）にて、7月4日（月）までに氷見市教育総合センター担当者へメールで提出してください。



研修会名・講師・内容等		実施日等	対象者・備考
1 ★	学力向上研修会 講師 福井大学 准教授 萩中 奈穂美 氏 内容 「国語科教育について」	7月29日（金） 13:30～16:30 教文4階ホール	・希望者 ・国語科教員
2 ★	教育セミナー（これからの教育） 講師 菊池道場 菊池 省三 氏 内容 「対話を通じた学級づくり・授業づくり」	8月2日（火） 9:00～12:00 13:30～16:30 教文4階ホール	・午前は小学校教員 ・午後は中学校教員
3	ふるさと教育研修会 講師 博物館学芸員外 会場 氷見市立博物館、氷見ラボ水族館等	8月4日（木） 13:00～16:45 市内各会場	・新規採用教員 ・希望者 ・今年度氷見市に転入した教員 （臨任講師の参加可）
4 ★	生徒指導研修会 講師 中央大学 客員研究員 高橋 聡美 氏 内容 「児童生徒の自殺の動向と私たちにできること」	8月10日（水） 9:00～12:00 教文4階ホール	・生徒指導主事 ・養護教諭 ・希望者

★印の研修は「中堅教諭等資質向上研修」における「選択研修」の対象となります。

## 若手教員研修会等

若手教員等の指導力向上を目指し、児童生徒理解や指導方法等について学び合い、教員同士のネットワークを構築する機会とします。

研修会テーマ・講師・内容		実施日等	対象者
1	テーマ「児童生徒理解」 講師 富山県総合教育センター 客員研究主事 館野 智子 氏 内容 「気になる児童生徒や保護者の理解と援助 ～あなたの中にある子供の姿～」	7月5日（火） 15:30～16:45 教文4階ホール	・小学校教員 ・中学校教員
2	テーマ「グラフィックレコーディング」 講師 トークグラフィッカー 山口 翔太 氏 内容 板書等に生きる文字や絵での記録（第2弾）	8月24日（水） 14:00～16:30 教文4階ホール	・小学校教員 ・中学校教員
3	テーマ「学級づくり・授業づくり」 講師 氷見市立朝日丘小学校 丸山 めぐみ 教諭 氷見市立比美乃江小学校 森田 智子 教諭 内容 実践に基づく意見交換等	11月9日（水） 17:30～19:00 教文4階ホール	・小学校教員
	テーマ「学級づくり・授業づくり」 講師 氷見市立南部中学校 青木 めぐみ 教諭 内容 実践に基づく意見交換等	11月11日（金） 17:30～19:00 教文第一会議室	・中学校教員
4	テーマ「教育論文・教育実践記録を書いてみよう！」 講師 氷見市教育総合センター 指導主事 内容 教育実践記録等を書くためのポイント	5月27日（金） 17:30～19:00 教文4階ホール	・教育実践記録等の執筆 予定者、希望者 ※第2回7月27日（水）

## おすすめ図書の紹介

－ 昨年度の年間貸し出しは約90冊に増えました！－

初等教育資料、中等教育資料、生徒指導、教職研修、指導と評価、白熱する教室（教育セミナーで講演される菊池省三先生監修の「菊池道場機関紙」）等…教育総合センターには、月刊誌が豊富にそろっています。また、新着図書として、ICT活用や人間関係に関するタイムリーな内容の図書、県や当センターの研修会等で講師となられる方々のご著書も購入しています。積極的にご利用ください。**貸し出しや返却等は、棚入れでも、代理の方のご持参でも結構です。**また、「こんな本が読みたい」など、リクエストがありましたらご連絡ください。